

三方五湖自然再生全体構想 概要

目標

湖と里をとりまく自然と人のつながりの再生

かつての生きもののにぎわいと、人のにぎわいを取り戻すため、先人の知恵と努力に感謝し、湖と人、人と人の関わりを見直しながら、将来にわたって三方五湖の恩恵を受けることができる誇りある地域社会を実現する。

課題

- 自然をとりまく環境の変化：コンクリート護岸化・自然の水辺の消失、水をつながりの分断化、流入負荷、底質の変化、侵略的外来種の侵入
- 自然環境の劣化：生きものの減少、生態系の変化
- 懸念される地域社会への影響：人と自然との関わりの変化や自然のめぐみの減少

三方五湖自然再生協議会

平成23年 5月に組織化
令和4年 3月 構成員数61個人・団体
(個人21、団体36、行政機関4)

対象区域

三方五湖流域及びその周辺地域

取組

• 自然環境を再生し活かす取組

多様な生きものを育む水辺の再生
湖と田んぼのつながり再生
魚類の生息環境の再生と保全
外来生物駆除
自然のしくみを活かした水質浄化
調査研究・モニタリング調査

• 社会の進展に対応した新しい取組

環境配慮型で誰もが取り組みやすい農法の研究・普及
ラムサール条約湿地が持つイメージを活かした商品づくりとPR
自然を体験・体感できる観光等の推進
自然再生に関わる情報システムの構築

• 地域の伝統・文化を活かした取組

伝統的な漁法等の伝承
湖の伝統文化祭の開催
環境学習の場の提供
ゴミゼロ活動の実施

三方五湖における自然再生の活動方針（3つのテーマと20の目標）

- **テーマ1：多様な魚介類がすみ、水鳥が羽ばたく水辺の再生と保全**
 - 目標 1：湖岸の治水機能を保ち、多様な生きものを育む自然豊かな水辺
 - 目標 2：ラムサール条約登録理由となった魚類等の動物や水草を育む水辺
 - 目標 3：湖～田んぼの生きものをつなぐ
 - 目標 4：湖と田んぼを往来する水鳥の姿と豊かな魚類相が支える海ワシが舞う空
 - 目標 5：外来生物の姿が少ない水辺
 - 目標 6：三方五湖本来の水質浄化作用を回復による健全な水環境
 - 目標 7：里山から湖へと続く、三方五湖流域全体の保全・管理
- **テーマ2：「三方五湖」の自然を活かした地域のにぎわい再生**
 - 目標 8：福井県内外における「ラムサール条約湿地・三方五湖」の知名度の向上
 - 目標 9：安定的で持続可能な漁業
 - 目標 10：環境配慮型で、誰もが取り組みやすい農法の研究・普及
 - 目標 11：「三方五湖」を冠した魚介類・農作物などを活かした商品の四季を通じた流通
 - 目標 12：「三方五湖」を冠したエコツアーを年間を通じた開催
 - 目標 13：環境浄化や漁業・農業とそれを活かした加工業、サービス業での就業意欲が高まる事業の創出
- **テーマ3：生活の中で受け継がれてきた湖の文化の伝承**
 - 目標 14：四季折々に美しく、心安らぐ湖の風景
 - 目標 15：子どもの頃から湖とふれあう機会を増やす
 - 目標 16：伝統的な漁法や昔ながらの農法を体験・見学する機会を増やし、伝承する
 - 目標 17：子どもたちが三方五湖や周辺地域の田んぼや水辺で環境教育活動に参加する機会を増やす
 - 目標 18：誰もが知り学べ、保全活動に参加できる場、機会を増やす
 - 目標 19：地域の食文化を掘り起こし、これを活用した地域行事を各地で開催
 - 目標 20：自然や文化の素晴らしさを伝えるリーダーを育成



海ワシ



コウホネ



石積み護岸
(昭和50年頃)